

第3学年国語科学習指導案

時間・場所 公開授業③ 3年3組教室
 学 級 3年3組 33名 (男子20名, 女子13名)
 指 導 者 堀江 稔英子

1 単元・教材名 いにしへの心と語らう

学習材 「夏草一『おくのほそ道』から」(光村図書 国語3 P146)

2 単元について

生徒は今まで、古典の学習、特に音読や暗唱に意欲的に取り組み、授業中の反応もよい。古人の考え方・感じ方にも興味を持っており、自分なりの考えを述べることもできている。しかし、依然として古典の文章や言葉には「難しい」という苦手意識を持っており、様々なテスト等においても、本文を最後まで読もうとせずにあきらめてしまう生徒も少なくない。

いっぽう、学習指導要領では、第3学年の伝統的な言語文化に関する学習について、単なる訓詁注釈や暗唱にとどまらず、歴史的背景などを考えながら作者のものの見方・感じ方の読み取することを指導するよう定められている。

これらのことから、本単元では、原文に触れさせることにより作者・松尾芭蕉の言葉の持つ力・リズム・快い響きなどを感じ取らせると共に、現代語訳も用いながら、芭蕉の「旅」に対する思いや人生観について考えを交流し合い、他から学ぶ機会を持つこととしたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・ 語句の使い方や表現上の工夫に注意して、本文や和歌・俳句を読み内容を捉えることができる。
(C-ア)
- ・ 作者の考え方や感じ方についてまとめたものを、互いに読み合い考えを深めることができる。
(C-エ)
- ・ 歴史的背景などに注意して、人生や自然に対する作者のものの見方や感じ方を読み取ることができる。
(伝統的な言語文化 (ア))

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語文化
作品に描かれた世界や作者について関心を持ち、進んで読もうとしている。	語句の使い方や表現の工夫に注意して本文や和歌・俳句を読んでいる。	現代語訳や脚注を参考に、歴史的背景に注意して作者の生き方や思いを捉えている。

4 単元の計画 (総時数8時間)

次	時	主な学習内容
事前		音読を通して古典のリズムを楽しみ、和歌に対する興味関心を持つ。表現の特色などに注意して音読し、大意を捉える。
1	1	単元の見通しをもつ。 三大和歌集の代表的な和歌について、歴史的背景を捉えながら読む。
	2	三大和歌集の表現の工夫や心情・情景などについて自分の考えをもち、互いに交流する。
2	3	原文を音読し、文体に親しむ。 冒頭部分に表れる芭蕉の心情について予想し、まとめてみる。
	4	現代語訳を読み、大意をつかむ。
	5	「芦野」「須賀川」「飯塚」「松島」「尾島」「最上川」のいずれかの部分を現代語訳で読み、芭蕉の旅に対する考えをまとめる。
	6	自分の考えを他の人と交流し、冒頭部分に表れる芭蕉の心情について、改めてまとめる。【本時】
事後		これまでの古典学習を振り返り、これからの古典との関わり方について考えよう。

5 本時の指導 (7/8)

(1) 目標

冒頭部分の旅に向けた芭蕉の心情について、根拠を明らかにしながら解説した文章を書くことができる。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・前時までの内容についてグループ内で交流し、解説文を書くための見通しを持たせる。
- ・本時の授業を通して「できるようになったこと (できなかったこと)」「わかったこと (わからなかったこと)」「興味を持ったこと」「どのような学習プロセスによって自分がどのように変容したのか」などについて自分の言葉で記述させ、グループで共有することで、学びを価値づける。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 (□)
導入 5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>6つの文章から読み取れる、「芭蕉が旅に出た理由」について考えよう</p> </div> <p>2 本時の学習課題の解決方法を確認する。</p> <p>① 心情を表す言葉を指摘する。</p> <p>② 旅の目的に関わる記述を指摘する。(旅によって得られる事柄・旅をするとどんないいことが?等)</p> <p>③ 誰が読んでも納得する根拠</p>	<p>1 前時までにエキスパート班に分かれて確認した「芦野」「須賀川」「飯塚」「松島」「尾島」「最上川」の内容を、ジグソー班で交流し、それをもとに課題を追求していくことを確認する。 ワークシートにより各自で振り返りしやすくする。</p> <p>2 黒板左で「本時の見通し」「解決方法」を示す。 エキスパート班：生活班。 ジグソー班：各班から1～2名ずつ集まった班。</p>
展開 30分	<p>3 エキスパート班で出たことをジグソー班内で交流する。</p> <p>① エキスパート班のメンバーは「芭蕉が旅に出た理由とその根拠」について簡潔に述べる。</p> <p>② ジグソー班のメンバーは①をメモする。</p> <p>③ ②について自分の意見を書く。</p> <p>④ 根拠が適切かどうか意見交換を行う。</p> <p>4 冒頭文「月日は百代の過客にして」をもう一度読む。</p> <p>5 各グループからの発表をふまえながら、『おくのほそ道』の旅に出発する際の芭蕉の心情について、改めて200字程度でまとめる。</p>	<p>3 前時にまとめていた「芭蕉が旅に出た理由」について、根拠になる現代語訳について紹介しながら、エキスパート班の意見を発表させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>エキスパート班の意見を発表しているか。【発言・観察】 ワークシートに発表内容をメモしたり、自分の意見を書いたりしているか。【ワークシート記入】 根拠を明らかにした意見交換ができているか【発言・観察】</p> </div> <p>4 現代語訳つきの原文を音読させる。 (内容をよりわかりやすく振り返らせるため)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第3時に想像して書いた文章と比較し、どのように内容が変わったか、2種類のグループ学習を通し芭蕉の心情への理解度がどれくらい深まったか、芭蕉の考えについてどのような意見を持ったか、等を含めた解説文が書けている。【ワークシート記入】</p> </div>
終末 10分	<p>6 本時の振り返りを行う。</p> <p>① 指示1分 ② 記入4分 ③ 交流2分 ④ 発表2分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇さんの…という意見から、芭蕉がなぜ旅に出かけたかについて考えることができた。私も芭蕉の考えに触れ、今後は……したいと思う。(第Ⅲ型)</p> </div> <p>7 次時の予告を聞く。</p>	<p>6 視点を示したワークシートに記入させる。</p> <p>7 ワークシートを回収する。</p>